



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」
～地域と共に生きる長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

祝！諫早支部 設立20周年記念式典 開催



8月23日（土）諫早観光ホテル 道具屋にて、諫早支部 設立20周年記念式典を開催致しました。前日までの雨が嘘のように晴れ上がり、諫早支部の未来を祝福するかのようでした。

第一部は司会進行役、例会委員長木下満也さんの開会挨拶から始まり、県仲間づくり委員長杉本誠二郎さんの力強いスローガン唱和、酒見英雄さんが支部長挨拶として現在の諫早支部の活動状況及び今後に向けての気構え等を話された後、宅島建設（株）宅島寿孝さん、（株）ミクト 松永秀文さん、アイネスト一級建築士事務所 三ヶ島雄二さんに新入会員バッジ贈呈を行いました。



その後、代表理事松尾慶一さんより祝辞ならびに、本年度会員目標600名達成へ向けての協力、そして更なる会員の結束を図る様、熱く語っていただきました。

記念講話として、諫早支部設立時に支部設置委員長として大きく関わって下さった出島地区会の岩崎誠一さんに、20年前のエピソードを楽しく、思い出深く話していただきました。その講話を聞いていたチャーターメンバーの中には、当時を思い起こされ、懐かしさに目頭を熱くされる方もいらっしゃいました。その後、チャーターメンバーの紹介です。北御門孝廣さん、酒見英雄さん、三田茂樹さん、嶋田雅弘さん、高橋抒見さん、平湯湧一さん、松田一成さん、以上七名です。まことに残念ながら、今回欠席された初代支部長高橋抒見さんのメッセージを松田一成さんが代読されました。高橋さんの諫早支部に対する愛着、仲間に対しての思いが一句一言に

目次

諫早支部 設立20周年記念式典 開催報告	1	特許庁知財セミナー 参加報告	12
例会報告	2	長崎財務事務所 意見交換会 開催報告	13
会員活躍	8	事務局企業訪問	14
第21回 経営フォーラム2014	9・16	入会・復会会員紹介	15
熊本同友会 県例会 参加報告	10	増強ウィーク開催告知	17
中同協 第1回 常任幹事会 参加報告	10	理事会議事録 抜粋	18
第1回 中同協社員教育委員会 参加報告	11	会員消息・会員数	18
第1回 中同協経営労働委員会 参加報告	12		

託され、感動致しました。

記念式典も無事終了し、隣接会場にて懇親会の開催です。司会は、仲間づくり委員長山田康成さんにバトンタッチ、今回の実行委員長である私こと森千尋が教科書通りの挨拶をさせていただきました。私を実行委員長の大役に持ち上げて下さった実行委員の皆様には、大変感謝をしております。宮本明雄市長をはじめ、諫早地域より多数御来賓を賜り、まことに有難う御座いました。来賓紹介の後、宮本明雄市長よりお祝いの言葉と、今現在の市が取り組まれている様々な課題、施策、中小企業の現況や将来の展望を話していただきました。引き続き、今回包括協定を結んだ、佐藤快信長崎ウエスレヤン大学学長より、地域活性化には、産学官の連携が大切であること、更に我々中小企業家同友会との関わりを通して能力ある学生の地場定着を見据えたいと話してい

ただきました。次に、黒田隆雄諫早商工会議所会頭より、過去も現在も国や地域の産業を支えているのは我々中小企業であるという強い気持ちと誇りを持って頑張ろうという頑張ろうコールで乾杯の音頭を取っていただきました。御来賓の皆様には重ねて御礼申し上げます。

約一時間程の祝歓談の後、チャーターメンバーへの感謝の意を表した記念品の贈呈を致しました。いよいよ懇親会も大詰めを迎え、副支部長廣谷慎也さんが御出席の皆様へのお礼と諫早支部の更なる発展を願い無事閉会となりました。事務局の皆さんお疲れ様でした。実行委員の皆さんお疲れ様でした。県下各支部より出席の仲間達、ありがとう。

(文責 森 千尋)

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	8月26日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「人生の大海原。失敗も成功もまた楽し。 笑顔で感謝の気持ちが福を呼ぶ」 ～目の前に現れた救世主。 同友会はパワーの源と羅針盤だ～
報 告 者	スギセイフーズ(有) 代表取締役 杉本 誠二郎 会員(諫早支部)



8月の例会は、多くのオブザーバーや他支部の会員の参加の中、県の仲間づくり委員長、スギセイフーズ(有)の杉本さんに報告していただきました。

子供の頃から「獅子座、亥年、B型」突進型の杉本さんは、20年間勤務された会社から独立され社員5名で杉本誠二郎の名前から、スギセイフーズという食料品卸業、農業環境事業の会社を立ち上げられました。性格通りに勢いに乗って猪突猛進、成功だけを信じて中国へ進出されましたが、失敗。まさに大海原、2年で資金がショート、やむなく断念し帰国されたそうです。そんな落ち込む杉本さんを、何も言わず暖かく迎



えてくれた家族、本当に励まされたと、身振り手振りの表現で話していただきました。その時、素晴らしいお客様(社長)との出逢いがあり、抜け殻になった杉本さんの背中越しに、「毎日1000回のありがとうを言う」という、感謝を教えていただき、今も実行し少しずつ業績が上がってこられたそうです。またその時期、同友会にご縁があり、感謝と笑顔の仕事へ変わっていかれたそうです。

同友会とは大海原へ出航した会員を見守る羅針盤であり、今では同友会を命の恩人同様に大切にしています。「すぎもっちゃん」の愛称どおりに、

笑顔がいっぱいの報告に皆さん心が“ほっ”と暖かくなりました。グループ発表では、どのグループからも同友会は家族のように助け合い、励ましあえるとの意見がたくさん聞かれました。仲間づくり委員会のリーダー「すぎもっちゃん」の笑顔と行動力がますます同友の輪を拡げていけると心強く感じました。

また、10月24日の経営フォーラムに向けての山口委員長の動員激励に、8月例会は力強い仲間づくりがテーマの素晴らしい例会として幕を閉じました。

(文責 金田 昭子)

長崎支部 出島地区会 例会報告	
日 時	8月28日(木) 午後6時30分
会 場	メルカつきまち 5階ホール
テ ー マ	会社経営いろはのい「経営理念」
報 告 者	(有)プライアント保険 代表取締役専務 橋口 久 会員(佐世保支部)



8月28日メルカ築町で プライアント保険の橋口久さんに会社経営のいろはのい「経営理念」をテーマに経営三種の神器、理念・方針・計画書そして「0.1の魔法の法則」について報告をしていただきました。

対お客様へと自分達社員への2つの理念から作った経営計画書のお話を聞き、計画書があった方が良いという認識はおありになられても、今はなくても経営ができていの方やプレイングマネージャーで現場に出ていて時間がない方が多く作ることができていないのが現状ではないのでしょうか？

実際作ってみようと思っても、どのように作っているのか、何から始めたらいいのかわからず、作ってない方も多いと思います。私も実際そう思っていました。固く考えず簡単な物でもいいから作ってみる第一歩、例えば数ページでもそれを「1」とカウントし、来年の「2」を目指して動き出せば、必ず「2」は「1」や「1.5」ではなく、「2」として実現します。「難しいもの」と捉えずに自分の身の丈で着手できたのです。発表でお伝えした通り、数ページの計画書でもいいのです。

従業員と共に前年度の反省、良くなる為の意見・目標を擦り合わせて一緒に作っていく事で、強制ではなく同じ方向性の計画書を作っていくことが出来ると言うお話を聞いて、私も固く考えて、どうしていいかわ



からず、何も始めていませんでしたが、まず作ってみようと思わせていただけるような素晴らしいお話を聞くことができました。

例会後、橋口さんへご連絡をさせていただいた時、「分部さんは0.1の魔法にかかったみたいですね」と言ってもらいました！まだ実感は無いですが、そう言ってもらって気持ちがまた前進出来た気がします。

(文責 分部 高)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→ 7,000
	3ヶ月	6,000→ 5,000

大村支部 例会報告

日 時	8月21日(木) 午後6時30分
会 場	おおむら夢ファーム シュシュ
内 容	納涼家族交流例会「同友会の絆」



今月の例会は毎年恒例の納涼家族交流例会でした。今年も例年通り、山口成美会員の「おおむら夢ファーム シュシュ」にて開催されました。スローガン唱和や支部長挨拶など一通りのセレモニーを進行し、長崎同友会最大のイベント「経営フォーラム」の説明が行われました。大村支部からも多数の会員が参加されるでしょう。そして皆様お待ちかねの交流会がスタートしました。

交流会では、生野会員と初会員の名司会で始まり、恒例の尻相撲や野菜詰め放題ゲームなどが催され、委員会ごとに白熱した戦いが繰り広げられました。



野菜詰め放題ゲームでは詰めた野菜はお持ち帰りができるとあって女性陣や子供達で大いに盛り上がりしました。中には一袋で2kgを超える人も居るくらいです。野菜の値段が高騰している現在ですが、シュシュならではのゲームです。

さらに熱い戦いを繰り広げたのが、豆つかみゲームです。大人達に混じって小さなお子さんが参加して一生懸命豆を掴んでいました。最後はジャンケンゲームで大変盛り上がりしました。

会員の皆様の通常の例会では見せない、または想像できない笑顔や、普段は接点がないご家族との会話が出来たりと親睦がさらに深められたのではないのでしょうか。通常の例会とは違い、お酒を飲みながら、またご家族も参加されての開催で終始笑顔の絶えない時間を過ごすことができました。

(文責 小濱 新二)

島原支部 例会報告

日 時	8月21日(木) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	これからの島原を牽引する若き経営者たち シリーズ 第3弾!『支援塾による人材教育活動』 ～我が社の社員共育のあり方～
報 告 者	(株)雲仙湯けむりファーム 代表取締役 楠田 喜隆 会員

島原支部の若手会員報告の第3弾として、今回は(株)雲仙湯けむりファーム 代表取締役の楠田喜隆さんに報告していただきました。

楠田さんは大学卒業後、食品販売会社で営業をしていましたが、3年半で呼び戻され、お父様が経営される(株)雲仙きのこ本舗に入社されました。その4ヶ月後にグループ会社の雲仙湯けむりファームを一から立ち上げ社長に就任する事になりますが、その苦労話は次の機会にと言う事で…。

さて、楠田さんが雲仙きのこ本舗に入社して暫くすると会社について良いところ悪いところに気が付くよ



うになられたそうです。良いところとしては、社員への愛情深い会社であるということ。悪いところとしては、カリスマ社長によるトップダウン経営、幹部候補の育成が進んでいない、報連相がちゃんと出来ていない、情報の共有・意思疎通がうまくいってない等、停滞する会社組織の体質ということでした。

そこで後継者としてどうするべきかを考えた結果、人材教育を通じて良い社風を作ろうと思い立たれました。管理者は社員を管理するだけでなく支えとなる



べきだとの考えから、グループ会社全体の人材教育活動として支援塾を立ち上げられました。そしてそれぞれの部署・役職などから4つのグループに分け、①ベテラン中堅チーム ②未来塾 ③さくらの会 ④5Sチームとなされたそうです。

ベテラン中堅チームは次世代の育成を主眼におき技術伝承が守られた強い組織力の熟成を目指しておられます。未来塾は若手の主体性を磨くグループで、レクリエーションや懇親会の企画運営や財務などの勉強会を行っているそうです。さくらの会は女性中心の会で、女性の目線や活力などを取り入れて職場の雰囲気や風通しを良くするための会だそうです。5Sチームは整理・整頓・清潔・清掃・躰け かなる5S運動をすすめていくチームで、勉強会を開催、チェックなどを



行われており、年2回、優秀なチームの表彰もされているそうです。

楠田さんは自立・支え・成長がテーマのこの支援塾の輪を拡げてゆき、良い社風を作っていきたいとの事でした。職場は最大の縁の場であると考え、この縁を大切に皆が楽しくやりがいのある職場を目指していきたいそうです。まだ始めて2年弱の支援塾ですが、この活動を通じて社員との交流が増え、価値観の共有が出来るようになり、少しずつ効果が見えてきたとの事でした。6次産業の食品総合メーカーを目指す楠田さんの野望は、まだ始まったばかりです。

(文責 坂田 考功)

佐世保支部 例会報告

日 時	8月22日(金) 午後6時
会 場	九十九島観光ホテル
内 容	同友会を知る納涼例会「マイライフ」 ～波乱万丈な人生、その先に見えた本当に大切なもの～
報 告 者	スタジオドリームエンジェル 代表者 金田 昭子 会員(長崎支部 浦上地区会)



8月の納涼例会は長崎支部浦上地区会より「My Life」と題してナリス化粧品代理店 ドリームエンジェルの代表金田昭子さんに報告していただきました。

コスメティック・健康食品・浄水器具・健康グッズ販売からエステティック～お客様が自宅に帰ってからもセルフケアができるようになるエステスクール。

また、仕事としてリスクも少なく、しっかり収入も



得られるようになるまでのマネジメント講座、身体がきれいになるだけでなく健康になれるようなダイエットプログラム指導等、美容に関する講師、インストラクターとして全国を飛び回られています。

どうやってみんながきれいになって、しかも、収益を上げながら楽しく女性として生きていけるか、小さい時から興味を持ち続ける美容の仕事を自分の体験を通してのお話でした。

今までの人生の中でさまざまな逆境、大切な人との別れを経験されておられますが、まわりの人たちからの支え・助け・出会いを大事にされ、強く明るく前向きに活動されている姿がとても印象的でした。

また、お客様の立場からサービスを提供する側へ、体験を活かして仕事ができるような組織づくり、次の後継者育成といったビジネスにおいての拡大のベースをきちんと創られている点が素晴らしいとの感想がありました。

商売するにあたって先の見通しを立てる事の大切さ、むずかしさを改めて実感し、相談できる場として、この同友会がとてもよい場であると再認識しました。その為にも、同友会の活動と拡大の必要性をあらためて感じさせられる素晴らしい例会でした。

(文責 八並 学)



+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +

北松浦支部 例会報告

日 時	8月30日(土) 午後7時
会 場	酒の一斗 星鹿研修所
内 容	納涼家族例会



今月は、(有) 酒の一斗 星鹿研修所にて恒例の「家族納涼例会」として開催しました。

冒頭支部長挨拶の中で、松浦市の中小企業振興条例について、「同友会が積極的に検討会の中心的な立場で条例作成に携わっている」との報告があり、また「平戸市黒田市長を交えての例会の折、中小企業基本条例について説明ののち、2件もの平戸市独自の条例制定がなされたと」の報告がありました。

最後に外形標準課税拡大に「絶対反対との意向を同



友会会員一同頑張って活動しましょう」と挨拶を締めくくり、家族例会に移りました。

家族例会では、新入会員の紹介、またバッジの贈呈など行い、会員および家族全員で歓迎いたしました。また、経営フォーラムのキャラバン隊の参加の案内も行われました。

(文責 津崎 幸三)

+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +
+ + + + +

五島支部 例会報告

日 時	8月9日(土) 午後7時
会 場	香珠子ビアガーデン会場
内 容	会員親睦納涼例会



今月の例会は、会員の家族や社員さんと呼んで会員相互の親睦を図ることを目的とし、五島支部会員である片山さんの勤務先である香珠子海水浴場の屋外BBQ場をお借りして、納涼例会として開催しました。森支部長の挨拶で始まり、例会委員会の設楽委員長の乾杯があり例会は進んで行きました。焼肉やお酒も進み、普段できない話も出たりして非常に盛り上がりしました。

その後、新入会員の米倉幸枝さんのバッジ贈呈式を行いました。米倉さんは五島の商店街で飲食店「エンドレス」を経営されています。五島支部3人目の女性会員です。米倉会員が「同友会で綺麗な花を咲かせたい」と言われていました。是非女性会員を増やし、大きな花を咲かせていただきたいです。

いつもの例会とは違い、屋外の会場の開放感もあってか和気あいあいとした雰囲気でした。残念ながら台風の影響でとても風が強く、予定していたビンゴゲー



ムやスイカ割りなどは実施できませんでしたが、より五島支部がひとつになったように感じました。

閉会の挨拶を仲間づくり委員会の山本委員長が「9月30日から10月6日までの仲間づくり増強ウィーク、会員皆様のご協力よろしくお願いします。」と挨拶し閉会しました。

今後もこの様な報告と懇親会が同時に行える様な例会を年に一回でも開催していけば、会員同士の親睦もより深まり、五島支部の活動も盛り上がって行くと思います。

(文責 吉田 幸子)

青年経営者会 例会報告

日 時	8月30日(土) 午後6時30分
会 場	オーシャンパレス ゴルフ & リゾート
内 容	サマーイベント

8月の青年経営者会の例会は毎年恒例のサマーイベントと題し琴海にあるオーシャンパレス ゴルフクラブ&リゾートにて花火をしたり、バーベキューをしたりして、会員や会員の家族の交流を深めました。当日は天候にも恵まれ、長崎支部浦上地区会の吉澤健会員のご協力により、クルージングを楽しむこともできました。

クルージングは、広くきらきらと輝く海を、体中に風を感じながら、クルーザーで航行するというもので



あり、とても気持ちの良いものでした。当日は、最大で約25ノットのスピードであったとのことでしたが、実際にはもっとスピードが出ているように感じられました。吉澤会員、本当にありがとうございました。



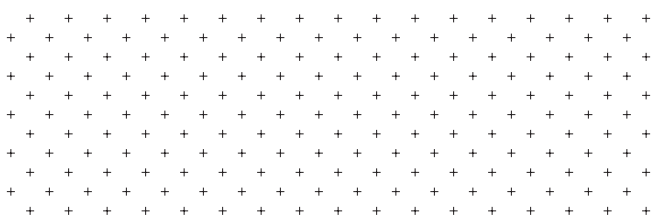
生ビール、ウーロン茶、オレンジジュースで乾杯し、宴会がスタートしました。昨年は、あいにくの雨であったため室内での焼肉でしたが、今回はプールサイドでのバーベキューを楽しむことができました。夜風にあたりながら、ビールやワインを飲んだり、炭火で焼き上げた肉やエビを食したりと、最高に楽しい時間を会員と会員家族とで共有することができました。また、多くの会員が家族のために、肉や野菜を網にのせ、ひっ

くり返し、焼けると家族のもとに運んであげていました。

食事後、子ども達が主役となり、花火を行いました。手持ち花火や吹き上げ花火、打ち上げ花火を行い、子ども達はとても楽しそうにしていました。子ども達同士も仲良くなったようで、一緒にはしゃいでいる様子がとても微笑ましかったです。

午後6時30分にスタートした今回のサマーイベントは、午後10時頃に解散となりました。来年も、より多くの青経会員、そのご家族、親会の会員及びそのご家族に参加してもらええることを期待しています。

(文責 植木 博路)



会員活躍

長崎新聞
8月23日
長崎支部 出島地区会
濱田 利夫会員

パソコンバンクは、ソフトウェア開発などを手掛けるユニオンソフト(長崎市、濱田利夫社長)は、パソコンバンクソフトを利用する企業からの問い合わせに金融機関に代わって応じる事業を9月に始める。金融機関にとっては相談対応業務の負担を削減できるのが利点。

NTTデータ四国(松山市)が販売する「EBNext2」などのパソコンバンクソフトを導入すれば、契約した金融機関との間でパソコン上で残高照会や振り込みなどの取引が可能になる。同ソフトを利用する企業は相談がある場合、従来は金融機関に問い合わせている。しかし規模の小さい金融機関にとって

(村田傑人)

パソコンバンク 相談対応業務を代行

長崎のユニオンソフト

対応業務は人員確保やコスト面で負担になるケースもあるという。

ユニオンソフトは既に自社製品などのサポートセンターを持ち、相談対応業務を手掛けている。ノウハウを持つ同社が業務を代行して金融機関の負担を減らすことで、同ソフトのメリットを高める狙いがある。NTTデータ四国によると、現在5千社以上が同ソフトを利用しており、2017年3月までに約1万社まで増やすのが目標。

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

□掲載/情報広報委員会にて選考

□投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

□メール/ jimu@nagasaki.doyu.jp



新商品

長崎さるくマツト

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

第21回 経営フォーラム2014

第1分科会 経営戦略



橋本興産
株式会社
専務取締役
橋本 桂子 氏

人が輝けば企業が輝く

～100年企業を目指す企業成長の実践報告～

〔プロフィール〕

1962年 佐賀県生まれ
1983年 大坪クリニックに栄養士として勤務
1986年 シーボルト記念病院に勤務
1987年 現社長である橋本 篤徳氏と結婚、同時に病院栄養士を退職
1999年 橋本興産株式会社入社
2002年 専務取締役

〔会社概要〕

社 名 橋本興産株式会社
創 業 1950年3月1日
資 本 金 4,100万円
社 員 数 14名
業 種 電線総合商社

お客様の価値創造を目指しながら最適な商品を提案し続けて64年。電線の総合商社、橋本興産は橋本専務のご主人でもある橋本 篤徳社長が1994年に事業承継。その後、会社存続の危機に直面し試行錯誤の経営が続きます。同族企業ゆえの様々な苦勞をされながらも、夫を支えともに経営に携わる中、同友会に出会い自社に取り入れたものは。

「社員採用」に力を入れ、「経営計画発表会」を始められ社員との目標と価値観の共有に経営計画書を活用し、現在は経営戦略実行書が大切な利益を生み出す道具となっています。社員とともに会社も成長し関西出張所を開設、更には関東進出に向け準備中。経営者と社員が経営理念達成の為に歩む企業成長の経営戦略から、経営者の責任と実行することの大切さについて学び合います。

第2分科会 共有



株式会社
シェアードバリュー・
コーポレーション
代表取締役
小林 秀司 氏

人を大切にする経営が進化する

～モノ・カネが優先された弱肉強食の資本主義は終焉を迎え、これからは人を大切にする人本主義の時代が幕を開ける～

〔プロフィール〕

経歴：法政大学大学院政策創造研究科（坂本光司研究室）
公職：内閣府委嘱地域活性化伝道師、法政大学大学院中小企業経営革新研究所特任研究員、法政大学大学院政策創造研究科坂本光司研究室「障がい者雇用研究会」代表世話人、経済産業大臣賞・中小企業庁長官賞「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」創設に尽力する、国立島根大学非常勤講師 島根県立大学非常勤講師
書籍：「元氣な社員がいる会社のつくり方」、論文「企業における障がい者雇用によってもたらされる効用についての研究」、共著「なぜこの会社には人財が集まるのか100%の超優良企業だけがやっている“人を幸せにする”経営」など

〔会社概要〕

社 名 ㈱シェアードバリュー・コーポレーション
創 業 1997年1月10日
資 本 金 1,300万円
社 員 数 3名
事業内容 「いい会社」ベンチマーク事業、社風をよくする研修事業、社風をよくするコンサルティング事業、全国企業調査・発掘事業、人を大切にする会社づくりの顧問指導、障がい者雇用推進コンサルティング事業、社会保険労務士業務（併設社会保険労務士事務所）

過法政大学大学院政策創造研究科坂本光司研究室を経て、全国350社の視察によって見えてきた、逆風をものともしない会社の秘訣

・ポスト資本主義社会は人本主義社会 ・基調価値観は「業績軸」から「幸せ軸」へ ・拡大再生産から調和善循環へ ・企業の目的は利潤の極大化ではなくモチベーションの極大化 ・競争から共感へ ・「勝ち負け」ではなく「全員主役」
社員の人間力向上が、商品とサービスに「あそこの会社はやはり違うね」という顧客満足度を高め、さらに「あの会社でなければだめだ」というお客様の信頼を高めます。人本主義がこれからの経営の本流！皆で学び「いい会社」になりましょう！！

第3分科会 事業承継



有限会社
上田自動車
代表取締役
上田 五月男 氏

チャレンジと改革の承継道

～やらない後悔よりやって後悔したい～

〔プロフィール〕

1977年 鳥原市生まれ、学生時代はサッカーに没頭。
1993年 8月に雲仙普賢岳災害で工場・自宅が全壊（自宅はみずなし本陣のドーム内に永久保存）
2002年 2月入社。2005年7月より代表取締役に就任。
2006年 2月より「感動の車検スタート」約8年で管理台数を10倍に。
2013年 10月「山口義行の中小企業新聞」にて番組で取上げられ、同年12月に当番組より、最も元気を与えた企業として番組初の「BS11賞」を受賞。

〔会社概要〕

社 名 ㈱上田自動車
資 本 金 500万円
社 員 数 8名
事業内容 「感動の車検」、自動車整備
钣金・塗装、超お得で賢い「Jプラン」
新車、中古車販売及び関連商品の販売
損害保険及び生命保険、福祉用具貸与

自動車関連の仕事に就き、25歳で父親が経営する会社に入社。当初は会社を継ぐ気はなかったが、後継者研修会への参加がきっかけで一転。経営の勉強に没頭。数々のビジネススクールや人との出会いで自分が目標とする会社像を見出し、これからのビジョンを父親と話し合い事業を承継。会社を法人化し従来の整備工場から脱却し新しい形へ。次々と新しいことや仕組みを積極的に取り入れ改革を実行しています。

事業承継時の先代との価値観の共有や歩み寄り、変えてはいけない大切なもの。継ぐ者の覚悟や情熱、明確なビジョン。社長になっての、社員の情熱が叶う職場や仕組みづくり。事業を引き継がせる立場になっての後継者への指導や準備などを報告して頂きます。

第4分科会 障がい者雇用



(有)ヨシダ精工
プレジャーワーク(株)
代表取締役
吉田 周生 氏

障害者雇用が地域社会の活性化へ

～一人ひとりの幸せの実現を目指して～

〔プロフィール〕

1992年 28歳の時、脱サラで内職仕事を夫婦でスタート
2006年 障がい者の実習受け入れに取り組む
2007年 障がい者の雇用開始
2009年 熊本県内初、株式会社での就労継続支援A型事業スタート

〔会社概要〕

社 名 プレジャーワーク㈱
創 業 1992年8月（㈱ヨシダ精工）
2009年4月（プレジャーワーク㈱）
社 員 数 6名（㈱ヨシダ精工）
23名・障がい者雇用35名
事業内容 住宅用電材組付け加工（㈱ヨシダ精工）
就労継続支援A型事業（プレジャーワーク㈱）

大手電機会社を28歳で退職し、(有)ヨシダ精工を創業。少人数での経営を10年以上続けていた頃、嫌々ながら知的障がい者の実習を受け入れたことで私自身と社内に大きな変化が生まれた。その後、精神障がい者の雇用に取り組むも、リーマンショックで経営危機を迎えるが、「誰一人解雇しない！」という意志を貫き、プレジャーワーク㈱を創業し社員の雇用を守り、障がい者の雇用を拡大した。

現在は、障がい者が働ける環境づくりを地域で展開することで、更なる障がい者雇用の拡大と地域の活性化を目指している姿を、これまでの体験を通して語ります。

熊本同友会 県例会 参加報告

日 時：8月20日(水) 17時50分 会 場：エルセルモ熊本

テーマ：鉄板の上にも三年 ～自分の信念に正直であれ～

報告者：(株)クニヨシ 代表取締役社長 早間 雄大氏 広島同友会会員



縁あって熊本同友会の青年部会長の瀬倉会長より熊本同友会第1回県例会へお誘いいただき参加してまいりました。今回の報告者は広島同友会の青年部連絡協議会会長や中同協青年部連絡協議会副代表を経験された早間氏の報告でした。

18歳からバックパッカーとして世界中を旅し好きなことをやって生きてきた早間氏が26歳のときに両親が2人でやっている鉄鋼所に入社し仕事を始めますが、仕事の大部分を占めていたお得意さんの倒産や父親の病気などで、大変な状況に陥り布団で寝ると起きれないからと工場にある鉄板の上で寝るほどに寝食を惜しんで働きますがなかなか結果や出ない中、同友会へ入会され役員となりますが同友会でもいろいろな問題を与えられ、多くの出会いや学びの中で、一つひとつ解決され自社にもその学びをとり入れ徐々に会社の業績も上がっていき、30歳のときに考えていた10年後の自社の目標としていた数字を超える結果を40歳を過ぎた今だされています。

お話の中で、全ての原因は自分にある、だから自分が変わらなければ周りは良くならないという「原因自分論」や、いくら夢や希望があっても方針や計画がな

ければ目標は達成できない「右手にそろばん左手にロマン」など学んだ事を即実行してきた早間氏の多くの経営体験を聴くことができました。

その後のグループ討論では「社員（人）が幸せになる為には何が一番大切ですか？」というテーマで討論しました。社員の方達もいろんな幸せの感じ方がそれぞれにあると思うので、まずは幸せを感じるための場所（会社）を存続させるのが経営者としての責任ではないだろうかという意見や、社員さんが安心して働けるように福利厚生などの整備が大切ではないかという意見も出されました。初めて参加した熊本同友会の県例会でしたが、同友会でも県ごとに組織や運営のやり方の違いがありとても参考になりました。長崎だけでなく福岡や山口、広島など多くの若手経営者の方達ともお会いでき、とても刺激を受けた県例会でした。

(文責 山口 善也)



中同協 第1回常任幹事会・組織強化全国交流会 参加報告

8月21日13時より第1回常任幹事会に参加させていただきました。各議題にそって各種報告、承認がなされる中で、やはり外形標準課税対応に関する討議は各地同友会から学習から始める、地元選出の国会議員の方と面と向かって話す、署名活動を行う等の意見が出ました。中同協が示す期限を10月末にすることが確認されましたが、長崎同友会では30,000名署名に向けて8月理事会で決議されておりますので、その方向性を再認識し、全体で動いていきたいと思います。

その後15時より組織強化全国交流会へと移り、参加させていただきました。事例報告は京都同友会：坂平さん、熊本同友会：横山さん、徳島同友会：山城さんからそれぞれ「増える体質の組織づくり」「新支部

設立から1年」「会員満足が増強の原動力」というテーマでした。22日は朝から広浜幹事長から「強い同友会づくり！増える組織・減らない組織への課題」というテーマで問題提起をいただき、グループディスカッションを行いました。

2日目は九州・沖縄ブロックでの構成でしたので共通する課題や今後の運動における確認ができました。中でも、①役員研修会 ②自主運営 ③組織の再編、この3つが重点的に討論され、役員研修会においては開催する主催側の熱意と真剣度を明確に伝え動員を図り、研修を行うことが確認されました。組織の再編に関しては中同協の市区町村組織率を参考に、空白地域をなくすために新支部設立等、ビジョンや年間計画に

盛り込み拡大へ向けて展開していくことが確認されました。私はグループディスカッションの発表者の役を仰せつかり、全国大会の場で初めての発表。討論の内容をまとめ、時間内に客観的に発表するという大変貴重な経験をさせていただきました。また一つ自分の経験となり、財産ができたことに感謝いたします。

22日の午後には組織強化全国交流会が閉会し、午後からは第1回社員教育委員会に参加させていただきました。飛行機の関係上、報告まで聴いての退席でしたが、新しく社員教育委員長になられた岡山同友会：

梶谷さんの報告は今後の長崎同友会運動において非常にヒントが多い内容でした。岡山同友会での社員教育プログラムや自社での取り組み事例は、現在長崎同友会が実施していないプログラムです。労使見解の考えを深め、実践し、共に育つ風土を再度作り上げていくことができるよう、共育委員会や理事会を中心に運動の一助ができればと思います。

(文責 事務局 峰 圭太)

第1回 中同協 社員教育委員会 参加報告

日 時：8月22日(金) 会 場：東京同友会会議室

第一部：審議事項 13:00～14:00

1. 中同協社員教育委員会の新体制・担当、取り組みの方向性について

(1) 新体制について

(新任) 委員長 梶谷俊介氏 岡山トヨタ自動車(株) 社長 岡山同友会副代表理事

副委員長 小島秀孔氏(株) ライフ白銅社長 埼玉同友会社員教育委員長

(継続) 副委員長 能登昭博氏(株) エヌ・アイ・エス 社長 千葉同友会副代表理事

(退任) 前 委員長 本郷利武氏(株) ユタカ商会社長、北海道同友会代表理事

前副委員長 前西佳信氏 エバオン(株)、大阪同友会同友会大学学長

* 中同協第46期 第1回幹事会(7月11日、新潟)で、梶谷氏の中同協社員教育委員会担当常任幹事(社員教育委員長)就任が承認されました。

(2) 取組み分野の担当、取組みの方向性について

①企業での社員教育(共に育つ実践)の分野 → 小島氏

②同友会での社員教育活動(同友会大学や各種社員研修会)の分野 → 能登氏

③学校との連携(勤労観・職業観の育成のための連携)の分野 → 梶谷氏

※) 各県からも学校との連携が発表され、長崎も諫早支部がウレスレヤン大学との連携を報告。

2. 第9回中同協「人を生かす経営推進協議会」報告 事前資料参照

3. 第4回人を生かす経営全国交流会 in 長野
日程 2014年11月20日(木) 13時
メインテーマ 今こそ「変革と継承」の時 ～共に育ちあい、企業と地域の未来をつくろう～

第二部：社員の可能性を引き出す経営者の役割 岡山トヨタ自動車(株) (株) トヨタレンタリース岡山代表取締役社長 梶谷俊介氏より、実践報告

1. 教育委員会との関わりから見えてきた同友会の可能性

岡山同友会と教育委員会との関わり

共に育つは教育の根幹

2. 岡山同友会の社員共育プログラム
社員共育プログラムの基本的考え
社員共育大学、幹部社員大学、同友会大学、教育(共育)講演会
3. 社員共育プログラムからの学び
社員共育プログラム開発からの学び
社員共育プログラム受講からの学び
今後の課題
4. トヨタレンタリース岡山における社員教育
社員共育の経緯、同友会社員共育プログラムの活用、体験型研修、その他の研修、私の関わり方、今後の課題
5. 共育ちにおける経営者の役割
地域課題の認識が共育ちの根底、経営者の役割
6. グループディスカッション

<所感>

新教育委員長の梶谷氏より、90分の報告と60分のグループディスカッションで、更に経営指針と社員教育の一貫した取り組みの重要性を実感しました。岡山同友会の取組みは、まさに研修会社顔負けの取組みで、研修プログラムから講師陣の手配など、全て手作りで行っているという点にも驚きました。各県の取組み発表にもありました、「理念ありきで社員教育を実施しないと成果が上がらない。」という意見や、経営指針を作成していない会員は、社員教育プログラムへの参加を制限したなど、本気の姿勢を伺うことができました。全国各県、社員教育委員会の取組みに温度差はあるものの、「同友会らしい」社員教育プログラムは何か?の問いには、異口同音に経営者と社員が「共に育つ」という「共に」という学びの姿勢が「同友会らしさ」に繋がるという回答でした。長崎県も次年度、合同入社式を開催する予定ですが、入社式から新入社員研修、幹部研修といった一貫した流れの中での取り組みが不可欠だという認識を強く感じました。長崎県同友会が進むべき社員教育委員会を真剣に考える時間となりました。ありがとうございました。

(文責 土井 幸喜)

第1回 中同協 経営労働委員会 参加報告

日 時：9月4、5日(木・金) 会 場：東京同友会会議室

近年政府により進められつつある「雇用改革（労働分野の規制緩和）」について、その内容や狙い、中小企業としての対応などについて学ぶとともに、経営指針実践運動に向けて、諸課題の検討や経験交流などを行った。

1、雇用改革 → 「時間より成果拡大」

中央大学准教授 鬼丸明子氏は講演の中で、働き方が大きく変わるかもしれない。どれだけ長く働いたかや、いつ働いたかではなく、仕事の「成果」で「賃金」が決まる新たな労働時間制度になるかもしれない。労働時間は1日8時間までと決められ、それを超えると企業は残業代を払う義務がある。現在上級管理職などに限り例外として残業代を払わないことが認められている。新制度はこれを一般社員に広げるものだ。以上の問題提起を受けグループディスカッションに入った。製造業では残業は当たり前。サービス業は「時間と賃金」が望ましい。営業職は「成果と賃金」も考えられる。雇用改革は大企業よりで、中小企業憲章の逆の政策と受け取れる。安易な雇用改革の風潮にのらず、社員さんと一緒に生きる、暮らしを守る、人間らしく生きる経営をめざし、労働環境をしっかり追及すべきという意見が多かった。

2、労働問題の今日的課題への対応

次に「経営指針作成」とその手引きの改訂、「支援プログラム」の活用について意見交換がなされた。我々は経営指針の実践から社員さんを本当のパートナーと位置づけているのか。雇用関係を自ら切り開く実践として、就業規則のガイドラインを検討する必要があるのではないか等の協議がなされた。

3、2014年度委員会体制と取組み

中同協の経営労働委員長に福岡同友会の中山英敬氏（(株)ヒューマンライフ）が選任されました。中山委員長から今後の取り組みについて力強い表明がありました。

- ①「経営指針作成の手引き」から「経営指針作成と実践の手引き」に改訂したい。
- ②企業変革プログラムは生かされているか。
具体的に各同友会理事会へ提案していく。
- ③同友会が考える就業規則はこうだと、ガイドラインを示していく。
- ④事務局の労働環境はこれでいいのか。検討すべき時期ではないか。この4つの課題に取り組んでいく旨の挨拶があり閉会となりました。

以上委員会参加報告といたします。

(文責 吉澤 健)



特許庁知財セミナー 参加報告

会場：つくば倶楽部

9月3日に、経営・労務担当委員会主催の、『中小企業のための知的財産支援セミナー』へ参加してきました。

特許庁普及支援課 産業財産権専門官の市来知晃氏より特許の意味から申請の仕方まで多岐にわたる、また今後弊社の商品開発での参考になる内容でした。

①知的財産権とは？から始まり ②特許の制度、③実用新案、④意匠、⑤商標、⑥産業情報財産権、⑦権利の活用と侵害、⑧その他(不正競争防止法など)まで。この8つのテーマのなかで、弊社がすぐ行動に移せそうなのが、実用新案の取得でした。

ちょっとした工夫やアイデア、技術的な特徴など、



世の中の役に立ち、日常生活に変化を与える商品が開発出来た際には、中小企業だからこそ申請する事がオススメ。

ビジネスにおける知的財産活動のメリットとしては、「有利な事業展開」「自社ブランドの確立」「自社技術力の向上」「社員のモチベーションの向上」など中小企業にとってメリット多数です。そして『意匠』『商標』もそう、自社ブランドを作る際に必要ですね。面白い情報もありました。これら産業財産権情報の利用方法として、IPDL（特許電子図書館）があります。競合他社の技術開発動向の把握や、自社の障害となる各種出願の早期発見など様々なことがわかりますし、特許が製造業だけではない意外な業界からも出されているなど他社との差別化を図っている経営者は是非一度検索、ご覧になって下さい。その差別化が思いもよらない形で他社の権利を侵害してしまい、『警告書』が届いてしまうという事態を未然に防げます。

今回学んだ事は、事業に直結する内容についてはもちろんですが、一度権利侵害が発生すると大変な賠償



を求められかねません。われわれ中小零細企業は、情報を正しく収集し適切に処理して武装することが生き残るために必要です。今回のセミナーは、それらを教えてくれた大変有意義なセミナーでした。

(文責 永吉 杏奈)

長崎財務事務所 意見交換会 開催報告



8月27日、長崎財務事務所から所長をはじめとする4名がご来局され、意見交換会を開催いたしました。同友会からは三役、政策委員、事務局合計5名が参加いたしました。冒頭財務事務所側から消費増税に伴う現状のご説明をいただき、その内容に対して企業側からの目線での意見交換がなされました。参加会員から行った、自社や取引先からうかがえる動向に対して、財務事務所の方々も熱心に耳を傾けていました。また同友会で5月に実施した消費税に関するアンケート結果もご説明させていただき、財務事務所側が把握している企業動向と同友会側の意識を互いに共有することができました。

その後消費税問題から外形標準課税適用拡大に関する話題にまでおよび、全国の同友会が反対する理由と長崎同友会における署名活動の実施を報告、財務事務

所側からも触れにくい話題ではあったかと思いますが施策上の見解、国の税制逼迫状態をお話いただきました。

経営者保証に関するガイドラインについては財務事務所側からあらためて詳細の説明をいただき、各金融機関の取り組み事例等も併せてご説明いただきました。長崎同友会からは消費税同様、九州・沖縄ブロックのアンケート結果をもとに同友会会員の現状をご説明しました。ガイドライン自体の浸透度の低さ、保証を外せなかった際、金融機関からその理由を教えていただけなかった割合が多いことから、ガイドライン説明会の更なる開催、また同友会としても学ぶ場の構築など意見交換がなされました。

今後定期的にこのような意見交換の場を設けると同時に財務事務所としても企業訪問の計画もあるとのこととで会員企業紹介等含めて連携の機会が増えてくると思います。同友会は条例や外形標準課税問題、人口減少の問題等検討する話は多岐に渡っていますが、その一つひとつの課題を整理しながら多くの方の知恵を借り、共に運動を推進していく仲間を増やしながら、今後も企業、地域発展のために在り続けていくことを確認できた意見交換会でした。

(文責 事務局 峰 圭太)



事務局企業訪問 ～自分が思う経営者像とは～



橘湾を臨む抜群の眺望に事業所を構える、諫早支部（有）廣谷環境開発 取締役専務 廣谷慎也さんを訪問させていただきました。

<解体のプロとして>

平成2年に廣谷産業を設立。平成14年に法人化、そして平成19年に（有）廣谷環境開発へと社名変更し、事務所を現在の諫早市早見町に移転しました。「犬小屋からお城までなんでも解体します」とおっしゃる廣谷さん。解体のプロとして建造物解体工事から廃棄物収集運搬・産業廃棄物処分を行われ、主に一般住宅の解体を中心に、最近では元長崎スポーツセンターの解体も行われたそうです。

そして解体・収集した廃棄物の一部をたい肥や特殊肥料としても自社でリサイクルもされています。

<現場をきれいに、仕事を丁寧に。チームワークを大切に。>

現場をきれいに、仕事を丁寧にすることを会社としてずっと徹底してきたとおっしゃる廣谷さん。怖いイメージを持たれることが多いという解体業の職人さんですが、社員に方に「現場をきれいに、仕事を丁寧に」ということを繰り返し伝えることで現場がきれいになるだけではなく、社員の方の心構えにも変化がみられ、お客様からは「廣谷さんのところの職人さんは話しやすくいいよね」と言われるようになってきたそうです。

また「チームワークを大切にするように」ということを社員に伝え、廣谷さん自身も現場に積極的に顔を出しコミュニケーションをとるようにされているうちに、できないことをやかましくいうのではなく相手の良いところを見られ、おごることなく他者を尊重する姿勢を皆が持つことができるようになり、職場の雰囲気も大変良くなったそうです。

「仲が悪ければ、仕事の効率も悪くなるからね」とポツリとおっしゃられた廣谷さんの言葉が非常に耳に残りました。

<後継者としての悩み>

廣谷さんは二男として生まれ、高校卒業後、福岡に進学、そのまま就職・結婚をし、まさか長崎に戻るとは思ってもいなかったそうです。

お兄様が病気になられたのをきっかけに、長崎に戻り家業を手伝うことを決意。最初は業界経験がない状態からスタートし、お兄様が入院していた病院に毎日通いながら仕事を覚えしました。一度はお兄様も手術を終え仕事に復帰をしますが、病気が再発し若くして他界されました。

「兄がいるからまさか自分が家を継ぐことはない」と思っていた廣谷さんでしたが、兄のためにも頑張ろう、家業を継ごうと決意されたそうです。

しかし経営者として、また、人間的な未熟さを常々感じ悩んでいた中、声をかけられ同友会に入会。

入会して数年後、プチ報告を例会でする機会があり、経営者・後継者としての悩みを語った所、会員の皆さんが親身になってアドバイスしてくれたことに非常に感激したそうです。その後いろいろな会活動に参加される中で、同友会は自分を鍛える場所だと思われるようになり、自ら進んで会活動に参加することで学び得られるものは絶対にマイナスになることはない、そして自分が学び成長すれば、会社も成長するのだと熱く語られました。

これからの課題としては、学んだこと・良いと思ったことを実践できるように、また自信を持って行動できるようになりたいとおっしゃっていました。

しかし、もともとは人前で話しをすることがたいへん苦手だったという廣谷さんが、8月に行われた諫早支部設立20周年記念式典の閉会時に副支部長として大変すばらしい挨拶をされたことを思い出し、学んだことを実践し成長された廣谷さんの姿がそこにあったのではないかと感じました。

（文責 事務局 田口 友廣）



新入会員の皆さんです＜8・9月入会・復会＞（敬称略）

<入 会>

支 部 名	長崎支部 出島地区会			
氏 名	なかむら けんたろう 中村 健太郎			
企 業 名	(有)ナオ建築			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒850-0077 長崎市小瀬戸町 809-9			
T E L	095-865-4917	F A X	095-865-4917	
業 種	建設業			
企 業 P R	家は生きています。 長く、快適に住んでいただきたいからこそ私たちは、見えな い所にこだわります。			
スポンサー	宮崎 涼子			

支 部 名	諫早支部			
氏 名	さかもと てつや 坂本 哲也			
企 業 名	シュブレーション			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 854-0406 雲仙市千々石町己 1736			
T E L	0957-37-6239	F A X	0957-37-6239	
業 種	冠婚葬祭・空撮事業・映像撮影 自動車（コーティング液卸し販売、出張洗車、イベント用レンタルカー）			
企 業 P R	●冠婚葬祭 ブライダル・ブーケの押し花類 制作・販売 記念日の押し花額 制作・販売 ボトルフラワー 制作・販売 ガラスエッチング 制作・販売 葬儀商品一部取扱 ●空撮事業 マルチコプター空撮、映像撮影 写真撮影、映像製作 ●自動車 ブルゴ JAPAN 長崎総代理店 (ボディークラスコーティング液 卸し販売) ●イベント用スーパーカーのレンタルカー ●出張洗車「洗車工房」			
スポンサー	杉本 誠二郎			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	ふるた かつや 古田 勝也			
企 業 名	宗教法人 本覚院			
役 職 名	代表役員			
企 業 住 所	〒 857-0864 佐世保市戸屋町 11-30 本覚院			
T E L	0956-22-8509	F A X	0956-22-8599	
業 種	宗教法人 日蓮宗			
企 業 P R	さまざまな心の悩みが多い世の中に、7百年伝来の伝統を守りつつ、現代社会の心に通じる信仰とケアを目指してまいります。悩み相談もしております。			
スポンサー	永吉 秀行			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	やまわき しんたろう 山脇 慎太郎			
企 業 名	(株)新栄			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒 859-3716 東彼杵郡波佐見町田ノ頭郷 344-1			
T E L	0956-85-5416	F A X	0956-85-7182	
業 種	自動車販売、観光事業			
企 業 P R	安心、安全を第一とした企業づくりに努めます。			
スポンサー	山領 進			

支 部 名	北松浦支部			
氏 名	みやた きょうこ 宮田 京子			
企 業 名	(株)西海福祉の森			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒859-6125 佐世保市江迎町三浦 39-1			
T E L	0956-65-3175	F A X	0956-65-3170	
業 種	障害者就労支援事業			
企 業 P R	障がい者の就労を支援する施設を運営しています。関連の社団法人と合わせて、利用者定員が90名、登録者数が約110名で、通所による日中活動のみを行っています。生産活動として、農業や貝類養殖に取り組み、あわせて、工場からの受託の内職作業や軽作業などの施設外就労も行っています。障害者自立支援法の精神にのっとり、障がいのある方々が、社会で生き生きと活動し、自立していけるよう、真心こめて支援を行きたいと思います。職員一丸となつて、「また明日も行こう」と思つて頂けるような明るく楽しい施設づくりを目指し、地域の福祉に貢献していきたいと思っています。			
スポンサ	池野 晋一			

A 10x10 grid of plus signs (+) on a white background. The grid is composed of 10 rows and 10 columns, totaling 100 plus signs.

折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。
ご利用お待ちしております。

<復 会>

支 部 名	北松浦支部			
氏 名	いせり ゆうき 井 芹 裕 貴			
企 業 名	(質)井芹地所			
役 職 名	代表社員			
企 業 住 所	〒 859-5111 平戸市浦の町 748-1			
T E L	0950-22-2867	F A X	0950-22-4075	
業 種	不動産業			
企 業 P R	平戸方面で不動産のことなら何でもご相談下さい！			
スポンサー	池野 晋一			

支 部 名	北松浦支部			
氏 名	すえつぐ せいいち 末次 精一			
企 業 名	(株)Office すえつぐ 精一			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒 857-0016 佐世保市俵町 11-16-501			
T E L	0956-23-7171	F A X	0956-23-7174	
業 種	経営コンサルタント			
企 業 P R	経営の本質を追求します！！			
スポンサー	池野 晋一			

第21回 経営フォーラム 2014

時代の波に乗り遅れるな！

集え、中小企業の志士たちよ！今こそ進化のとき

日 時 **10月24日(金)**

場 所 長崎ロイヤルチェスターホテル
〒852-8156 長崎県長崎市 赤迫 3-6-10
TEL 095-856-1101

参加費 **7,000円** (懇親交流会費含む)

記念講演テーマ

『ローソン再建に学ぶ企業経営』

講 師 元ローソン・ジャパン社長
全日本農商工連携推進協議会 会長
内閣官房地域活性化伝導師
六次産業化プランナー

都築 富士男 氏

■講演趣旨

経営者は、経営課題を明確にし、その課題を解決する仕組みを作ることによって時代の変化に対応し、成長発展できます。経営課題を放置すれば、企業はやがて衰退する運命にあります。かつてローソンも経営課題を解決せずに放置して経営を続けたため出店を凍結し倒産の危機にありました。このローソンが日本を代表する優良企業に成長し、倒産の危機にあったダイエーの救世主と言われるまでになりました。経営課題をどのようにして、解決したか再建の全てをお話し致します。

タイムスケジュール

受 付 12:00～

分 科 会 13:00～

記念講演 16:30～

懇親交流会 18:30～

■経歴

スーパーマーケット・ダイエーに入社、主に食料品の仕入れに従事。アメリカ企業とダイエーの合併会社の取締役に就任し、アメリカ勤務。その後、コンビニエンス・ストア・ローソンの代表取締役に就任。

倒産寸前のローソンを再建し、当時80店舗しかなかった店舗数を、在籍中3000店舗にまで拡大。

全国展開の日本を代表するコンビニエンス・チェーンに急成長させる。その後、上場会社の社長を経て独立。現在、「都築経営研究所」代表取締役として、コンサルティング、企業訪問、講演などを中心に活躍中。国産雑穀全国普及協会の専務理事として各地に雑穀村を組織化し、農業者への支援も行っている。

2008年に設立された「全日本農・商・工連携推進協議会」の会長として淘汰されつつある中小企業と崩壊の危機にある農業・農村の活性化の支援を行っている。

 **9/30(火)～10/6(月)開催!**

増強ウィークやります!

県下一斉! 支部・個人対抗

今回は個人対抗のスポンサー賞もあります。

We are
No.1



仲間を
増やそう!!

チャレンジ600 長崎同友会

問合せ
連絡先

長崎県中小企業家同友会 仲間づくり委員会

☎095-822-0680 長崎同友会事務局

9月理事会 議事録 抜粋

9月4日(木) 19:00 つくば倶楽部
出席者 20名 欠席者 4名

- 1) 仲間づくりについて
杉本仲間づくり委員長総括－8月に関して7月の増強ウィークの余韻が感じられた気がします。すぐに次の増強ウィークが始まります、9月30日～10月6日の開催です。当初は10月の半ばに予定していたのですが、フォーラムの動員のため・おくんち期間を避けるため前倒しました。次回も表彰を支部・地区会と個人にしますので、ぜひ賞をとれるよう皆さんがんばりましょう。そして次の増強ウィークは会勢600名達成に向けた大きなチャンスになると思いますのでぜひ取り組んでいただきたいです。また、次の増強ウィークは7/17～10/6を対象とし、10/6 23:59までに事務局にFAXまたはメールで届いた入会申込書でカウントをします。その後の役員会で支部の推薦をいただき、最終のカウントとします。みなさん、ご協力のほど宜しくお願いします。
- 2) 例会について（更なる例会の充実を目指して）－尾崎例会委員長
→10月のはどの支部・地区会もフォーラムを充当。9月佐世保支部例会では、設楽誠会員（五島支部）が報告を行う。五島支部からの報告者は初で、今回はシミュレーションも五島で行った。島原支部では9月例会で商工会議所青年部を招き、青経もキャラバンを兼ねて参加をすることになっている。どの支部も趣向をこらした例会作りをしている。8月の出席率は昨年より上がっている。返信率に関しては大村と島原が100%を達成している
- 3) 第1回中同協常任幹事会および組織強化全国交流会参加報告
松尾代表理事
→幹事会が終了後、組織強化全国交流会で勉強をしました。他県の情報を知るといろんなことに取り組みたいと思うのですが、一番思ったのは小グループ制の導入です。ぜひ小グループ制を導入し、会員の皆様が会活動に参加しているという意識を持ていただきたいと思います。
- 金井副代表理事
→同友会活動に取り組むなかで上を見ればキリがありませんが、長崎同友会の活動は決して他県に遅れを取っているものではないということを確認しました。むしろ進んでいるところもあります。いろいろとやらなければいけない課題はありますが、長崎同友会はいいなと思いました
- 4) 第1回社員教育委員会参加報告
→社員教育委員長に岡山同友会副代表理事の梶谷氏が就任。新しい方針と全国の状況を報告いただく。2部では梶谷氏より90分の報告をいただく。グループディスカッションでは、社員共育と経営指針の一貫した取り組みの重要性を実感。岡山同友会では研修プログラムから講師陣の手配など、全て手作りで行っているという点に驚いた。また社員ばかり、社長ばかりが学ぶのではなく、共に学び共に育つ姿勢が大切ということを確認。詳細は広報誌を確認。長崎においては次年度に合同入社式を予定。その他にも合同研修、合同幹部研修も検討。その流れの中で共同求人にも取り組んでいきたい。
- ※「社員教育」という表記があるが、同友会では「社員共育」という表記をするのではないかという意見を受けて
- 【中同協の見解】
「社員教育」という表記をする。理由は「社員教育」は一般的な用語であり、「社員共育」は同友会での用語である。対外的なことも鑑みて「社員教育」の使用をしている。ただし各地域で「社員共育」と表記しているところもあり、中同協としては各地域の自主性に委ねている
- 5) 外形標準課税適用拡大反対署名進捗報告
→9月末の締め切りに向けて各支部で署名をとりまとめている。また街頭署名活動を行うことを確認
→事務局峰より報告。9月4日12:00現在約800名分集まる。長崎支部では9月27日10時～13時にハマクロス前で街頭署名活動を行う
※商工会議所に依頼状を提出する

- 6) 女性部発足に向けた準備会開催報告
→8月29日に開催。沖縄同友会 元代表理事 比嘉氏にも参加をいただく。来期総会での発足に向け準備を行う
- 7) ダイヤモンドクラブからの提案について
→富永さん、加悦さん、泉さんで一度会議を開いたが意見がまとまらなかったため、継続して会議を開催予定
- 8) 特許庁知的財産セミナー開催報告
→辻村副代表理事・事務局峰より報告。詳細は広報誌を確認
- 9) 財務事務所との意見交換会開催報告
→長崎同友会と財務事務所にて8月27日意見交換会を行う。詳細は広報誌を確認
→10月1日財務事務所業務説明会参加依頼あり(理事の方から1名)→事務局にて調整
- 10) 内規集について
→現在事務局で作成したものを報告
- 11) 3カ月間会費滞納者について
→該当者なし
- 12) 長崎同友会会員 他県での報告予定
10月21日鹿児島同友会経営フォーラム：宮田会員分科会報告
11月12日福岡同友会経営フォーラム：上田会員分科会報告
2月9日富山同友会県例会：中村こずえ会員報告（予定）
2月19日熊本同友会県例会：中村こずえ会員報告（予定）
- 13) その他
→池内県史振興局長より面談の依頼があり、大村・諫早で中小企業の現状と課題・女性が活躍できる場について意見交換を行う

- 決議事項確認
- ・1名の交代、4名の退会を承認
 - ・ポスターデザインは山領会員（佐世保支部）の案を採用。デザインを決定。印刷はコンペの結果、島崎会員（大村支部）に決定。ポスター配布に九州ひぜん信用金庫を加える。また各銀行に2枚ずつ配布、会員にも配布をするため1,200枚印刷することを承認。再度島崎会員に見積もりを出していただき、吉田財務委員長に確認を行う。ポスターの会員への配布方法は三役会にて協議し、次の理事会にて提案
 - ・来期より拡大還元金を案分することを承認。割合は三役会にて協議し、次の理事会で提案
 - ・第21回経営フォーラムについて、フォーラムノート広告募集、FBページ作成・公式HP告知、来賓リスト及び案内状、グループ長研修実施、企業PRブース設置、フォーラム出欠管理表に関して出島地区会藤村会員の見積もり提出（20,000円+税）、来期よりフォーラムの経費として計上することを承認
 - ※ウエスレヤン大学佐藤学長についてはあくまでも会員として参加いただき、来賓紹介の際に一言「会員です」と添える三役会案を承認
 - ※今後、フォーラムノートの広告に関しては1P等の掲載について三役会にて協議する
 - ・来期の経営フォーラムについて北松浦支部・佐世保支部ともに役員会で協議。次の理事会で報告
 - ・10月理事会を10月2・3日中同協役員研修会が大分で開催されるため、10月3日17:00に長崎県にて開催を決定。場所に関しては後日報告
 - ・宗教法人の会員資格について、入会時にご本人が同友会で学びたい点や将来同友会役員として活躍いただけるか等の意思確認を行うべきとの三役会案を承認
 - ・事務局について健康診断受診を承認
 - ・理事選考委員会について、9月4日2014年度第1回理事選考委員会にて来期総会において代表理事に松尾慶一会員（佐世保支部）を推薦、本人から承諾を得たことを報告し承認

次回日程－10月3日（金） 17:00～ つくば倶楽部

会員消息

会 員 数（9月1日現在）

	長 崎（浦上）	（出島）	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	33	569
現在	206	116	90	60	61	38	102	38	529

退 会 者（敬称略）

会 社 名	会員名	支部・地区会名	入会年月
（株）新成設備	奥 村 暢 浩	諫 早	2010年 3月
徳勝・わたらい法律事務所	徳 勝 仁	佐 世 保	2007年 8月
（資）井芹地所	井 芹 学	北 松 浦	2001年 1月
べすとぶらす五島	野 口 将 克	五 島	2013年10月